

作物のすみずみまで有効成分が行きわたり、害虫の食入を防いで、徹底予防!長い残効、優れた経済性。

- 特長1 ヨトウムシ、オオタバコガ、ナモグリバエ等、重要害虫への高い防除効果。
- 特長2 作物体内、葉裏に隠れた害虫や、葉裏に産卵され、孵化した幼虫も防除できる、優れた浸透性と移行性。
- 特長3 すばやく摂食活動をストップ。長い残効と耐雨性で、しっかり作物を守る。

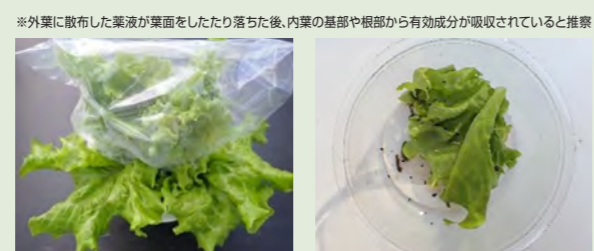
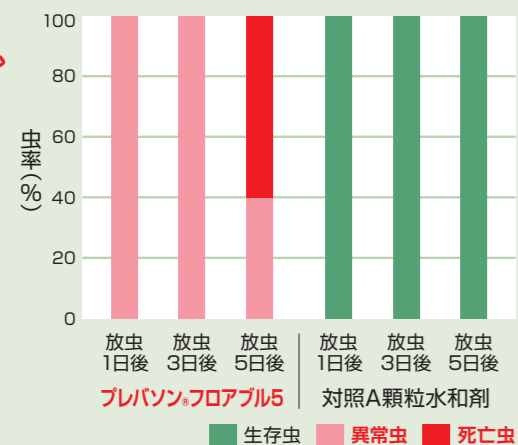


優れた浸透性と移行性  
葉液のかりにくい葉裏や葉の間に潜む害虫の食害も、徹底予防!

優れた上方移行性!

直接散布していない内葉においても、対照剤を大きく上回る効果を発揮\*。

散布1日後/無散布部位(内葉)への効果



①外葉5枚を残して、内葉をビニールで覆い、所定濃度の葉液を散布  
②無散布部位(内葉)を切り取り、プラスチックカップに入れ、放虫

【試験概要】2022年北興化学工業(株) ◎供試作物:非結球レタス(品種:レッドウェーブ)φ20cmプラスチックポット植え10~12葉期 ◎薬剤散布:2022年11月15日 ◎供試虫:オオタバコガ3齢幼虫 ◎区制:1区1カブ3連制、1区5頭放虫 ◎供試薬剤:プレバノンフロアブル5、対照A顆粒水和剤(共に2000倍希釈) ◎試験方法:①外葉5枚を残し、内葉にビニール袋を被せた非結球レタスに、所定濃度の葉液を100%/3株ずつスプレーガンを用いて散布。②風乾後、ビニール袋を取り除き、アクリルフィルム温室内に置いた。③散布1日後に無処理部位(内葉)の葉各1枚ずつを切り、紙を敷いたプラスチックカップ(200ml)に入れた。④そのカップにオオタバコガの3齢幼虫を5頭ずつ放虫し、25℃恒温室内に置いた。⑤散布1日後、3日後、5日後に正常、異常、死亡虫別に調査した。

高い葉内移行性!葉基部から葉先端への移行性に優れます。

対照剤を上回る高い効果を発揮。

薬剤名	倍率	死虫率(%)	平均食害率(%)
プレバノンフロアブル5	2000	100	0.1
対照A顆粒水和剤	2000	59	1.8

処理・放虫方法  
②処理7日後に葉を切除



①葉下半分表裏両面に葉液塗布  
③葉上半分表面に放虫

【試験概要】2022年丸和バイオケミカル(株) ◎供試作物:キャベツ(品種:金糸201EX)9cmポット育苗 ◎供試虫:ハスモンヨトウ2齢幼虫住化テクノサービス(株) 産卵群 ◎区制:8頭/区4連制 ◎処理日:2022年10月27日 本葉5葉展開時 ◎放虫日:2022年11月3日 処理7日後放虫 ◎調査日:2022年11月6日 放虫3日後調査 ◎処理方法:下位4葉のみを残し、筆を用いて葉下半分表裏両面に葉液(プレバノンフロアブル5、対照A顆粒水和剤共に2000倍希釈)を各剤にtween20(0.05%を添加)を十分に混ぜ、散布。◎放虫方法:処理7日後に処理していない葉上半分を切除し、この表面に放虫。◎調査方法:放虫3日後に虫体の状態及び食害率を調査。死虫率及び平均食害率で評価。

優れた浸透性!葉表から葉裏への浸透性に優れます。

対照剤を上回る高い効果を発揮。

薬剤名	苦悶死虫率(%)	食害度
プレバノンフロアブル5	62.1	5.0
対照A顆粒水和剤	15.8	25.0

【試験概要】2022年日産化学(株) ◎供試作物:キャベツ ◎供試虫:ハスモンヨトウ(生科研飼育感受性系統) ◎試験ステージ:1齢幼虫、処理日:2022年12月6日 ◎散布水量:2.5ml/葉表散布 ◎風乾期:アトミック30000倍 ◎連制:1区8連制、10頭放虫 ◎調査:7日後切取りの放虫2日後調査及び食害調査 ◎試験方法:キャベツ葉表に直径7cmとなるように均一に葉液散布(プレバノンフロアブル5、対照A顆粒水和剤共に2000倍希釈)、葉裏に放虫後、シャネルの蓋をしておもしろをせる。◎キャベツ葉:11/15播種、散布時7葉期(4葉目使用)



プレバノン®フロアブル5  
ユーザー証言!

静岡県浜松市  
松井 鯉太郎さん

農学部の大学院を卒業後、新規就農して10年目。キャベツ10a、ブチヴェール40aのほか花き(小菊)などを作付。2023年よりフィンガーライムを作付予定。

キャベツの幅広いチョウ目害虫を長期間抑えてくれるので、経済的。浸透性と移行性の高さが、ありがたい。

薬剤がかりにくいオオタバコガや重要害虫を、2週間以上抑えてくれるから、防除の回数が減って、コストパフォーマンスがいい

効果が続くの?という感じでした。いつも3週間以上は確実に効いていますね。また、「オオタバコガやハマダラノメイガなど、幅広いチョウ目害虫をばっちり抑えてくれますよね。オオタバコガは葉の中に潜り込んでしましますが、プレバノン®フロアブル5はオオタバコガに直接かからなくてもしっかり効果がある。浸透性と移行性があると聞いたけど、まさにそれです」と松井さん。散布処理で9~10月に1回、11~12月に2回使用されるとのこと。「11~12月は、ブチヴェールの収穫と重なるので、とにかく忙しい。この時期にプレバノン®フロアブル5を散布処理しておけば、しっかりキャベツを害虫から守ってくれるので、大助かりです。」「長く効くから、全体の防除回数が減らせて、コストパフォーマンスがいい」とその経済性についても高く評価されていた。また、「複雑な形のブチヴェール\*に、プレバノン®フロアブル5の浸透性と移行性が、大助かり



松井さんが40a作付する、静岡県生まれの野菜「ブチヴェール」は、糖度や栄養価が高く、その生産量においても同県が全国の9割以上を占めています。限られた面積でも、高い収益が得られる作物を就農当初から模索していた松井さんは、7年前にブチヴェールの作付を開始。「高品質



なブチヴェール栽培の秘訣は、やはり害虫防除とおっしゃいます。「初期生育時にローテーションの中で、プレバノン®フロアブル5を2回散布しています。ブチヴェールはすごく複雑な形をしているから、害虫に薬剤がかりにくいけど、プレバノン®フロアブル5は、浸透性と移行性が高く残効も長いから、抜群の安定感がある」。浜松市が推進する「もうかる農業」というビジョンをベースに、収益性を重視する松井さん。「2023年からはフィンガーライムの作付も始めるつもり。圃場全体でしっかりと収益を出していきたいですね」と未来を見据える経営者のまなざしが印象的でした。

\*ブチヴェール®(株)増田探種場の登録商標です。プレバノン®フロアブル5では「非結球あぶらな科葉菜類」の登録内容で使用できます。

\*コメントは取材当時の個人の感想です。本内容は2022年12月取材時のものです。取材動画はこちらから▶

※抵抗性回避のため、系統の違う殺虫剤とのローテーション防除を徹底してください。※散布処理の際は、十分に葉液を作物に付着させるため、展着剤を加用してください。  
●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手が届くところには置かないでください。●空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。●防除日誌を記載しましょう。

©2024 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC, FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。 PRV-FLS4A

新規登録拡大!  
にんじん「キアゲハ」、  
かんしょ  
「ヒルガオハモグリガ」  
など

プレバノン®フロアブル5で  
重要害虫を  
徹底予防!

浸透性と移行性に優れ、ドローンで散布できます!

高い効果を支える、  
優れた浸透性と移行性!  
詳しくは中面▶

作物のすみずみまで有効成分が行きわたり、害虫の食入を防いで、徹底予防!長い残効、優れた経済性。

60以上の幅広い登録作物! 隣接する作物への考慮がしやすく使いやすい

15以上の作物に「無人航空機による散布」登録!  
ノズルの目づまりトラブルゼロ。ドローン散布に適したフロアブル製剤です。



■適用害虫と使用方法 赤字:使用方法に「無人航空機による散布」の登録があります。

2024年11月13日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 カブラハバチ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバチ類	500倍	苗地床1㎡当り2ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	コナガ、アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバチ類、オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a			20倍	
はくさい	コナガ、アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (注注は1回以内、 散布は2回以内)
	コナガ、アオムシ ヨトウムシ、ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	コナガ、アオムシ ヨトウムシ、ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a			20倍	
かぶ	コナガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
非結球あぶらな 科葉菜類 (タアサイ、非結球はくさい、 なはな類を除く)	コナガ ハモグリバエ類						
タアサイ	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (注注は1回以内、 散布は2回以内)
非結球はくさい	ハスモンヨトウ コナガ、ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内 3回以内	散布	
なばな類	アオムシ、ハスモンヨトウ コナガ、ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (注注は1回以内、 散布は3回以内)
	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	
アマランサス(莖葉)	シロオビノメイガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
だいこん	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類、ハモグリバエ類	20倍	1~2ℓ/10a			無人航空機 による散布	
はつかだいこん	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類、ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a			1回	
てんさい	ヨトウムシ	4000~ 5000倍	100~300ℓ/10a	2回以内	3回以内	散布	2回以内
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	2000倍				セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	
ブロッコリー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a			20倍	
茎ブロッコリー	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (注注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
パセリ	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前 まで	1回	散布	2回以内 (注注は1回以内、 散布は1回以内)
らっきょう	ハモグリバエ類			3回以内	3回以内		
ねぎ	シロイチモジトウ ネギコガ、ハモグリバエ類	20倍	1~2ℓ/10a	収穫3日前 まで	1回	灌注	4回以内 (注注は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	ハモグリバエ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日			
豆類 (種実、ただし、だいず、 あずき、らっかせいを除く)	ハスモンヨトウ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ、オオタバコガ	16~ 32倍	0.8ℓ/10a				
あずき	ハスモンヨトウ アズキノメイガ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ、オオタバコガ	16~ 32倍	0.8ℓ/10a				
未成熟そらまめ	ハモグリバエ類	1000~ 2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000倍					
やまのいも	ハスモンヨトウ ナガイモコガ	20倍	1~2ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ アリモドキノゾウムシ ヒルガオハモグリガ	2000~ 4000倍	100~300ℓ/10a				
さといも しょうが	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	16倍	0.8~1.6ℓ/10a				
えごま(葉) ふぎ	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫120日前まで	2回以内	散布	2回以内
ふぎ(ふぎのとう)	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a				
クレソン(土耕栽培)	コナガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
ごま	オオタバコガ			2回以内			
飼料用とうもろこし (子実)	アワノメイガ ツマジロクサヨトウ	2000~ 4000倍	1~2ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (は種前の塗沫 処理は1回以内、 は種後は 3回以内)
	アワノメイガ、ツマジロクサヨトウ オオタバコガ	16倍	1.6ℓ/10a				
	オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a				
とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	アワノメイガ オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	20倍	1~2ℓ/10a				
オクラ	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
たばこ	ヨトウムシ	2000倍	100~180ℓ/10a				
とうき	キアゲハ	2000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内
にんじん	キアゲハ	20倍	1~2ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機 による散布	2回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
レタス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ、ハモグリバエ類	20倍	1~2ℓ/10a				
	ハモグリバエ類	1000~ 2000倍	100~300ℓ/10a				
非結球レタス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ヒメフタテンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	ハモグリバエ類	20倍	1~2ℓ/10a			無人航空機 による散布	
トマト	ハモグリバエ類	1000~ 2000倍	100~300ℓ/10a	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	オオタバコガ、トマトキバガ	2000倍					
	トマトキバガ	100倍	1株当り25mℓ				
ミニトマト	ハモグリバエ類 コナジラミ類	200倍	1株当り50mℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (注注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類 コナジラミ類	2000倍	100~300ℓ/10a				
	ハモグリバエ類 オオタバコガ、トマトキバガ	2000倍	100~300ℓ/10a				
なす	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類、ネキリムシ類	100倍	1株当り25mℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハモグリバエ類	200倍	1株当り50mℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000~ 2000倍	100~300ℓ/10a				
とうがらし類	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (注注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ コナジラミ類	100倍	1株当り25mℓ				
ピーマン	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000~ 2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (注注は1回以内、 散布は2回以内)
	ハスモンヨトウ、コナジラミ類	100倍	1株当り25mℓ				
きゅうり	ハモグリバエ類	100~200倍	1株当り50mℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類	200倍					
	ウリノメイガ	1000~ 2000倍					
ズッキーニ	ハモグリバエ類	1000倍	1株当り25mℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	3回以内	散布		
とうがんにがうり 未成熟ささげ アスパラガス つるむらさき しそ科葉菜類 (えごま(葉)を除く)	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
いちご モロヘイヤ エンサイ				収穫7日前まで 但し、みつばの 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回以内	散布	2回以内
せり科葉菜類 (パセリを除く)	ヨトウムシ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	1回	1回	灌注	1回